

## 令和元年度第2回庄内町男女共同参画社会推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和元年3月12日(木) 18時30分～19時45分
  - 2 開催場所 庄内町役場 第1会議室
  - 3 出席委員 石川精一、水尾理恵、佐藤彰一、佐藤恒子、加藤容、瀬川幸子
  - 4 事務局 佐藤企画情報課長、阿部課長補佐兼企画調整係長、日向
- 

### 1 開 会 (18:30)

### 2 委員長あいさつ

### 3 協 議

第3次庄内町男女共同参画社会計画の進捗状況について  
答申案について

【事務局】 資料に基づき説明。

前回会議の内容(会議録)と答申案

【委員】 ランドセルの贈呈の手法というのは町長が手渡しすることがよくないということか。

【事務局】 前回の会議の中で、赤と黒から1色に統一するという意見と子どもが希望の色を選べるようにする意見の2種類があったため、このような表現をしたが、ご意見のように意味が伝わらないのであれば直していきたい。

【委員長】 (1)について、ご意見あればいただきたい。

【委員】 何事も順番があると思うが、去年の答申から見れば女性の活躍を応援する町としての町づくりを目指してほしいという総務課に出されたような内容がまず(1)なのでは。そのためにも男性により子育てに関わってほしいということで今の(1)案が出てくるのだと思う。

【委員】 実際問題(1)のような状況は町内にあるのか。

【事務局】 町としてはまだ育休を推進する段階だと思う。

【委員】 おっしゃるとおり(1)は大きなテーマを上げて、細部をその後にまとめていけばいいのでは。最近、パワハラが企業の中で結構あるようで、パワハラやセクハラなどで裁判になった際の保証金がついている保険もあり、それに企業が加盟しているのが当たり前になりつつある。そちらの問題も大きくなってきているように感じる。

【委員長】 では、あくまでも一般的な形の問題意識をまずはあげるということで。答申にあげる事項は前回の答申にあげたものではなく、新たにあげるということでよろしいか。

【事務局】 特にそのように決まっていない。例えば今まであげたものに関しても継続的にあげた方がいいものもあると思われればそちらをあげていただいてもかまわない。

【委員】 パワハラについて、町の困りごと相談にはあまり来ないが、町外の相談窓口には相談が寄せられている。町内ではなかなか話しづらいため。この答申で活字として出しておいた方がみんなの意識として残るのかなと思う。

【委員】 今回初めて参加させていただいて、策定された計画について素晴らしいと思っている。これから議会の問題もある中で、クォーター制など取り入れて本当の意味での男女共同参画社会になるように尽力いただければと思う。

【委員長】 続いて（２）について、ご意見あればいただきたい。

【委員】 このような問題は実際にあるのか。

【委員】 実際にある。家庭環境が通常ではないと思われる家庭はあるが、ただ、すべてがそうではなくて、問題はありつつも様々な部分で町はそのような家庭をきめ細やかな支援で支えてくれているなど感じる。また、どこにメスを入れたら町全体が男女関係なく働きやすい環境になることが可能なだろうと。例えば役場の中で、もっと上を目指したいがそれが叶わない足枷が何かあるであれば、また一般企業でも去年進めたことが進んでいないということであれば何が足枷になっているのだろうか。

【事務局】 役場のことだけ言わせてもらえば、係長となる時に男女で差ができてしまっていて、課長になるには課長補佐にならないとなれない。係長になるのが遅ければ補佐になるのももっと遅くなる。昔の時点で、係長になる時の年齢に男女に差ができていたので、なかなか差が縮まらない現状はある。

【委員】 やはり係長になる時の年齢に男女で差ができてきている事実があるので、これからの世代への育て方、今は人材育成も一つの課題であるので、誰もがチャレンジできる仕組みづくりについて役場から示していくことも大事なことなのでは。

【委員】 そのような状況は役場の話だけだと思う。民間はやる気や実績であって、そうでなければ昨年の one team のような雰囲気は絶対に出ないだろう。誰もが認める実績があれば男女関係なく登用されると思う。そのような企業でなければ倒産してしまうと思う。いいアイデアや実績を出せば、ボーナスで認めてあげるとか、いろいろ手段はあると思う。

【委員長】 続いて（３）について、ご意見あればいただきたい。ランドセルについては、色を選べることにするのか、一色ということにするのか

【委員】 （３）は子どもの問題だが、親世代にも関係があり、今の子育て世代は意外と家庭の中で役割分担しながらともに子育てをするという意識が高まっていることを応援していく社会でありたい、ということに記載しながら、なお、学校においては性差の意識につながるような男女別の出席番号ではなく混合名簿の普及や、新１年生に町で贈呈するランドセルについては同一色で、併せて、この間出た制服の問題も見直す機会があれば十分検討してほしいと。

【委員長】 （３）と（４）は一緒にした方がいいということによろしいか。

【委員】 そうなるかと思う。

【委員】 ランドセルもアンケートをとっての結果が、結局今までのままでいいということで、あまり深くは考えていないというのものもあるかもしれない。

【委員】 私たちはこういう場で問題として取り上げるため、色を選ぶという選択肢も出てくるが、保護者からすれば、町からもらうものだからこちらでは決められないんだろう、という風に思ってしまうのではないか。

【委員】 同じ色の方がいじめなどの問題がないと思うので同じ色の方がいいのでは。

【委員長】 業者も同じ色であれば困難さは減ると思う。

【委員】 それではあげる側からの目線になってしまう。やはり男女共同参画ということであれば、選択肢を挙げてどうすべきか意見をもらう場が必要なのではと思う。ただ、ランドセルはなくなるかもしれないというお話もある。

【委員】 そもそもランドセルでもなくても、中学校みたいなカバンでもいいのではないかな。

【委員】 いずれにしても、ランドセルの問題は答申に繰り返し出した方がいいと思う。例えば5色のうち子どもたちに好きな色を選んでもらうなど。子どもが喜ぶのが一番だと思う。ただ、選ぶとなると教育委員会は大変で、キャンセルができなくなったり、年度の終わり頃に転入してくる子どもたちに対応できなくなる。

【委員長】 ほかに、前回の答申で継続した方がいいというものや追加した方がいい事項があればご意見いただきたい。

【委員】 防災について、去年は大きな被害はなかったが、引き続き防災に関しての女性の活躍や具体的なマニュアルを作るなどの対策を訴えていった方がいいのではないかな。

【委員】 今年防災計画を見直して、女性から意見を聞く機会があるとのこと、なお念押しして次年度以降も、と押していく分にはいいと思う。意見を聞く機会を増やしながらいよいよものを作ってほしい。

#### 4 その他

次回委員会：3月17日（火）18：30～ 庄内町役場 第二会議室

#### 5 閉会

（19：45）